

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院消化器・内分泌・小児外科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：当科における大腸癌切除症例の入院期間の検討

1. 研究の概要

近年、急性期・高度急性期医療では、入院期間を短縮し、患者さんの早期退院を目指すことが求められています。当院でも、入院期間を適正化するため、DPC 入院期間Ⅱ以内での退院を目標としています。

当科で大腸癌の手術を受けた患者さんについて、手術日が月曜日の場合と水曜日の場合を比較したところ、月曜日に手術を受けた患者さんでは、水曜日に手術を受けた患者さんと比べて入院期間が長くなる傾向がありました。その要因として、手術前の入院期間や手術後の食事を開始するまでの期間が長いことが考えられました。

そこで、2026 年 4 月から診療曜日の変更に合わせてクリニカルパスを見直し、特に月曜日に手術を受ける患者さんの食事開始時期を早めることで、入院期間を短縮できるように変更しました。本研究では、このクリニカルパスの変更によって、月曜日に手術を受ける患者さんの入院期間を短縮できたか、また、合併症などの有害事象に変化がなかったかを調べます。

【研究責任者】

宮崎大学医学部外科学講座肝胆膵外科学分野 七島 篤志

2. 目的

本研究では、2026 年 4 月以降の診療曜日変更に伴う当科における大腸癌手術症例の食事開始時期変更により、DPC 入院期間Ⅱの達成率と合併症発生率の変化を明らかにすることを目的とします。

3. 研究実施予定期間

この研究は、以下の期間において実施されます。

研究機関の長による実施許可日から 2028 年 03 月 31 日まで

4. 対象者

2024 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日までに宮崎大学医学部附属病院消化器外科で大腸癌手術を受けた患者を対象とします。

5. 方法

対象となる方のカルテ情報から、年齢、性別、入院日、手術日、腫瘍占拠部位、術式、診断名、食事開始日、退院日、DPC 入院期間、術後合併症の情報を利用させていただき、これらの情報をもとに入院期間を延長させる因子を解析し、入院期間の短縮化を検討します。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、個人情報保護や研究の独創性確保（あるいは、特許に関わる事象）に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、研究責任者が所属する診療科の研究費で賄われます

本研究は、企業および団体等と経済的な関与がないため、申告すべき利益相反はありません。

注1）臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部外科学講座消化器・内分泌・小児外科学分野 氏名 坂元 紀彦

電話：0985-85-2808

FAX：0985-85-3780